

えひめ薬学生NEWS

薬学生夏のつどいin静岡

9月3日(土)~4日(日)にかけ、薬学生夏のつどいが開催されました。全日本民医連に加盟する東海北陸地方の事業所から、薬剤師、薬学生が静岡県御殿場市に集まりました。今回は特別に声をかけていただき、愛媛からも、学生1名、職員1名で参加をしてきました。

テーマは「ハンセン病療養所をたずねて～医療者の原点を見つめる～」です。

1日目は、静岡にある駿河療養所を訪ねました。入所者自治会長の小鹿さんと、静岡健生会専務の高橋さんの2名からお話をきき、実際に療養所の中を歩きました。入所者の小鹿さんの話では、療養所内での生活の実態や、差別の実態が語られました。ハンセン病に対する誤った情報で、長年根拠のない隔離政策をとらされていたこと、国の行なう隔離政策により、世間から差別され、家族の元へ帰れない人も多かったこと、本名を隠して生活しなければならないこと、子どもを産まないように断種手術をさせられたことなど、想像を絶する体験を語っていただきました。

そんな中、入所者で手を取り合い、粘り強い活動で、法律の改正を実現したことなどが語られ、思いの大きさ、その行動力にすごいと感動しました。

国の行なう政策は、必ずしも正しいわけではないこと、正しい知識を得ることが大切なこと、そのためには学び続け、そして学んだことを人へ伝えていくことが大切だと感じました。

2日目は、ポリファーマシー事例検討会を行ないました。モデルケースを元に、処方されている内容、患者さん本人の訴え、家族の訴え、検査結果を元に、この薬はいる、この薬はいらないのではないか、この薬とこの薬の相互作用はどうか、など各グループで話し合い、どう処方を減らすかを発表しました。

正解はないですが、みんなで患者の立場に立って、必要以上に薬を飲むことのないように考えることは、学生にとっても若手薬剤師にとっても勉強になったのではないのでしょうか(^ ^)



ポリファーマシー…必要以上に薬を飲んでいて、薬による有害事象が起こりうる(起こっている)状態をさす。

今後の予定

- 10月28日(金) 薬学奨学生会議 松山大学カルフル 服薬指導 模擬
- 11月20日(日) 愛媛生協病院健康フェスタ
- 12月3日(土) 愛媛民医連 2年目薬剤師研修報告会 15:00~18:00 愛媛生協病院にて



薬剤師のたまごの成長日記
ブログもチェックしてね♪

